

人文社会科学のための グラントライティング入門

担当教員：永崎 研宣

(財) 人文情報学研究所 主席研究員
東京大学大学院情報学環特任准教授

科目番号：02DZ303 (1 単位)

開講日時：7月31日～8月1日

場所：人文社会学系棟 B620

対象者：人文社会科学研究科に在籍する大学院生

TWINS 登録期間：7月8日まで

日程：

7月31日 (木) 2~6 限

- チュートリアル
- 人文社会科学にとっての研究資金の必要性
- 研究資金獲得のための基本的な考え方
- 研究資金の色々
- 研究資金の適正な執行

8月1日 (金) 1~5 限

- 各自の課題の検討

★たとえお金がかからなさそうな人文社会科学系の研究であっても、仕事を適正規模に拡げていくためにはどうしても研究資金の獲得が必要になってきます。国内でもいくつかの学会に参加するなら旅費が必要であり、グローバルに研究を展開しようと思ったら海外出張旅費がかかります。本を買うにも自腹では限界があります。大がかりなプロジェクトをしようと思ったら若手を雇用するための資金も獲得しなければなりません。さらに、雇った若手に学会発表をさせるための旅費も必要です…。ということで、研究者として立ち上がった後には、研究資金獲得という大きな課題が待っています。大学院生のうちにこれについて学んでおくことは、この課題の解決に向けての近道となることでしょう。

★申請書作成にあたっては、絶対の正解というものはなく、むしろ、多面的な状況にあわせてより良い答えを出せることが重要となります。したがってこの授業は、それぞれの状況に応じて、より良い答えを出すために配慮したい事柄について実践的に学んでいく場となります。そのため、少人数によるディスカッションの場を繰り返し設けますが、これは本番ではなく、あくまでも練習段階です。失敗をおそれずに積極的に参加することを期待します。

【事前課題】

受講者は、以下のテーマについて400字以上1200字以内の小レポートを作成し、期限内に提出すること。

テーマ：「自分の取り組んでいる研究が理想的な成果を出せた場合、

(1) どのような人 (人々 or 組織) にとってどのように貢献できるか

(2) そのような貢献によって社会全体にとってどのような利益があるか」

※レポート内では、自分の研究概要について、他の分野の人文社会科学研究者に理解できるような形で触れておくこと。

提出〆切：7月28日22時 (日本時間) まで

提出方法：メールで grantlec@dhii.jp 宛てに送付。

※メールの件名を「グラントライティング課題」とし、本文中に必ず氏名、所属、学籍番号を明記すること。